

# 社会情報流通基盤研究センター

## ICTの活用による社会的課題解決を目指す

- 確実な本人確認を行うための社会インフラの構築
- 医療情報連携のための技術開発

- 生涯を通じた健康・医療情報の利活用
- 電子行政を支えるシステム調達の改善

センター長 大山 永昭 特命教授  
<http://www.asist.iir.titech.ac.jp/>

### 社会情報流通基盤研究センターの研究課題

#### 情報流通基盤システムに関する研究

行政機関や医療機関等が管理している個人情報を、本人が自ら必要に応じて取得・確認・利活用できる安全確実な社会情報流通基盤整備することを目指し、セキュアなネットワークや本人確認等の技術について研究を行っています。

#### 電子行政に関する研究

政府情報システム調達における費用対効果や刷新遅延等の問題を解決するための調達のあり方に関する研究のほか、安全性や信頼性の高いシステム開発の効率の飛躍的向上を図るために研究を行っています。

#### 社会保障サービスに関する研究

マイナンバーカードを利用した医療情報の利活用提案をはじめ、全国規模の医療情報連携基盤構築やオンライン資格確認等の本人認証に基づく情報連携研究、マイニングによる目的別健康医療データの信頼性・有用性向上のためのデータ精錬技術に関する研究を行っています。

#### 最終目標

個人の健康医療情報を自らの判断で利活用できるように個人主権の情報流通を実現するとともに、その価値を高めるための高度な医療情報サービスの実現に寄与。



#### 国への提案・提言

- マイナンバーカードにおける情報連携基盤の安全性確保
- ICカードの導入（電子利用者証明等）
- 政府・自治体におけるITガバナンスの確立・強化
- BPMNを活用した業務可視化による業務改善
- 自動車検査証の電子化によるデジタルトランスフォーメーション
- 公的個人認証サービスの医療分野への活用（医療保険のオンライン資格確認（下図参照））
- 処方情報の電子化と薬剤情報の共有による重複投薬や併用禁忌の薬剤投与の防止

等



#### 産業界との連携

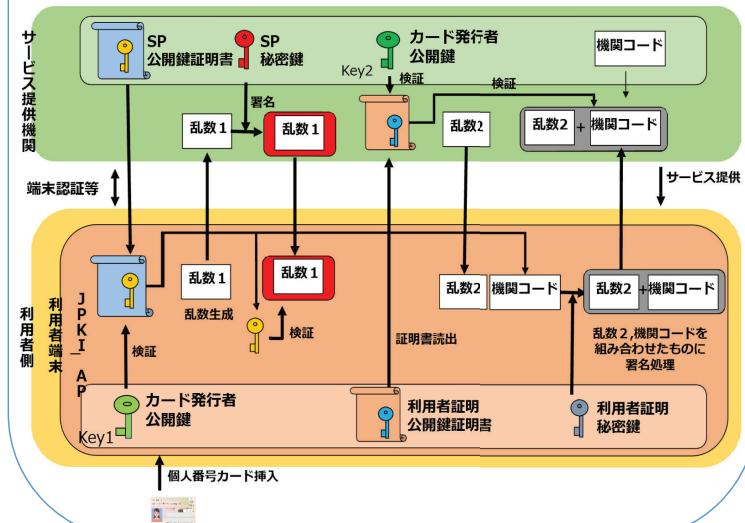
- 次世代ICカードシステム研究会（NICSS）（会長：大山特命教授）
- 保健・医療・福祉情報セキュアネットワーク基盤普及促進コンソーシアム（HEASNET）（会長：大山特命教授）
- 電子行政IT投資の在り方に関する研究会（当センター主催）等



#### 要素技術の開発

##### 機関認証による利用者証明機能の利用

暗証番号の入力が容易でない場面でも、利用者証明機能を安全に利用可能とする技術（下図参照）を開発しました（特許第5300026号）。この技術は、マイナンバーカードに搭載されており、オンライン資格確認の際に行われる特定利用者証明（左図参照）の実現に欠かせない技術です。



#### 提案が実現した例

##### <マイナンバーカードを利用した医療保険のオンライン資格確認>

2023年4月からオンライン資格確認が原則義務化されたことに伴い、概ね全ての医療機関・薬局等でマイナンバーカードを健康保険証として利用できるように導入が進められています。オンライン資格確認等システムを導入した医療機関・薬局等は即時、患者の健康保険資格を確認できるようになりました。さらにこの機能を用いて、患者さんごとの調剤薬の安全管理の向上等が期待されます。

